



7. 環境教育に関連する団体・組織

愛知・名古屋地域では、自治体や企業、経済団体等が中心となり環境教育に関連する様々な組織を運営しています。企業の環境教育や環境への取り組みに関する情報収集に活用することができます。

名商ecoクラブ



白川郷・富山視察会

○名商ecoクラブは、名古屋商工会議所会員企業の環境行動の促進およびビジネス機会の創出につながる交流の場の提供をねらいに2010年10月に設立。会員数は150社（2014年3月末時点）。

○全体事業として環境先進企業等の視察会、講演会、ビジネス交流会、自然保護活動等を実施しているほか、テーマ毎に、省エネ実践G、リサイクル・モノづくりG、自然共生Gの3グループで活動している。従業員の環境知識の向上だけでなく、会員相互の新たなビジネス連携の創出にも貢献している。

URL：http://www.meisho-ecoclub.jp/

〈主な事業〉

- ・講演会
「成長戦略としての環境産業」
「ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）の取り組み」
- ・視察会
環境先進企業、食品リサイクル工場、最新省エネ技術のオフィスビル
- ・ビジネス交流会
会員交流会、メッセナゴヤ出展
- ・自然保護活動
東山植物園「花いっぱいプロジェクト」、なごや東山の森づくり



先進プラスチックリサイクル視察会

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)

○EPOCは、中部地区の産業界が中心となり、産業集積地である当地域から環境情報の発信と環境先進地域の形成を目指して2000年2月に設立。会員数は258社（2014年3月末時点）。

○当地域を代表するモノづくり企業を中心に、全体事業のほか、テーマ毎の7つの分科会で講演会、勉強会、視察会等を実施。環境をテーマに様々な企業の交流促進を図る。なかでも、次世代交流分科会では、会員企業が提供する「出前講座」や企業施設の「見学講座」を紹介しており、小中学生をはじめとする次世代層が多数参加するなど、環境教育の促進に貢献している。

URL：http://www.epoc.gr.jp

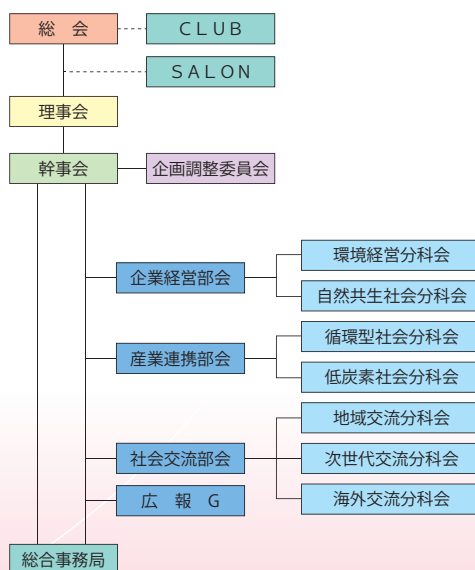


EPOC 会員企業による出前講座



エコラベルについて学習する小学生

〈組織体制〉



環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部)

○EPO中部は、持続可能な社会の実現に向け、中部7県の市民、NPO/NGO、行政、企業、学識者等が主体となり環境に関する協働（パートナーシップ）の取り組みをサポートする組織。セミナー、ワークショップ等の企画運営やマッチングによる協働事業を行っている。特に、NPOに関する情報は豊富で、企業がNPO等と連携した事業を行う際の相談窓口としても活用できる。

URL : <http://www.epo-chubu.jp>



連携による地域性苗木の植樹



ESD フォーラム 2014

あいち環境塾・AEL ネット

○愛知県と（公財）名古屋産業科学研究所は、持続可能な人材育成を目指し「あいち環境塾」を開催している。企業や自治体、大学等の分野において環境を基調とした地域づくりのリーダーを養成するため、各分野の第一線で活躍する有識者を講師に迎えて、15日間に亘る講座を通して環境問題を多角的に学ぶことができる。

○愛知県では、民間や自治体の環境学習施設のネットワーク組織として愛知県環境学習施設等連絡協議会（AELネット）を設置し、地域における環境学習を推進している。各施設の情報提供に加え、2014年からはAELネット環境学習スタンプラリーを開始し、環境学習の普及に貢献している。

URL : 【あいち環境塾】 <http://www.nisri.jp>

URL : 【AELネット】 <http://kankyo-gakushu-plaza.pref.aichi.jp/ael>



なごや環境大学

○名古屋市が中心となり設立された「なごや環境大学」は、市民、企業、大学等が協働でつくる環境活動のネットワーク。2005年度から本格的に事業展開し、地域の環境学習を支えている。市民団体をはじめとする様々な主体が、環境問題を考える講座を企画運営しており、企業がNPO等と連携して講座を提供することもできる。

URL : <http://www.n-kd.jp>

